

一般質問 その後を 追跡

Vol.10

皆さまのご意見・ご感想を
お待ちしております。

議会報では、定例議会毎に一般質問の要旨を掲載していますが、その後どのように町政に反映されたのか、質問の一部を追跡しました。
(平成24年3月～12月)

連絡先
鷹栖町議会事務局
☎ 0166-87-2111 (内線301・304)
✉ gikai@town.takasu.hokkaido.jp

鷹栖町議会 検索



質問 3月定例会

より利用しやすい町営バスの運行を

公共交通の維持は、住民サービスの中でも重要なものの一つ。町は住民のニーズをいち早く察知して対応しなければならない。
バス運行の見直しに際して、該当する地域の人たちと真剣な議論を持つべきと思うが、町長の考えは。

答弁 町長

バス停留所を移設予定。さらに検討を進める

車両の小型化や知遠別線の一部路線で予約制にしたり、バス運行費の削減に取り組んでいる。
平成24年度は、利用者の皆さんと協議して、バス停留所の移設を予定。
地域住民の生活路線として、効率的なバス運行体制を検討していく。

追跡 その後…

新しい運行体制になりました

バス停の移設ではなく、路線内のどこでも乗降が可能になった。また知遠別線は事前に連絡がなければ運行しないことで、経費の削減をはかっている。
循環線についても運行状況を見て、利用しやすい体制を考えたい。

質問 12月定例会

パレットヒルズの新たな計画は

パレットヒルズは未完成であり、利用者の満足感は得られていない。自然教材などの活用も考えられる。またパークゴルフ場は試行期間が過ぎ、安定的な財源も必要になってくる。新たな整備計画は。

答弁 町長

指定管理者委託を視野に検討

電気、水道などの基本的施設の整備は必要と考えるが、財政的な面も考慮しながら決定し、議会や町民の皆さまにも説明したい。未来に負担を残さない原則で公園条例を制定して、有利な補助金を活用していきたい。パークゴルフ場は継続し、パレットヒルズ全体の管理を指定管理者へ委託する方法も検討している。

追跡 その後…

基本構想を策定しました

平成25年度からパレットヒルズ全体の管理を指定管理者へ委託した。町民主体の「考える会」を設立、話し合いの場を持ちながら8月末までに基本構想を策定。整備の基本設計を立て、その後実施設計をしていく予定。

質問 12月定例会

新エネルギーの導入は

新エネルギー導入に対しては、積極的に太陽光発電などに助成する取り組みをするべきではないか。

答弁 町長

太陽光発電の助成は前向きに検討

太陽光発電の助成についてはCO2削減に向けた取り組みとして、制度の前向きな検討をしている。

追跡 その後…

補助制度が始まりました

平成25年度から、環境負担の少ない自然エネルギーの普及促進を図ることを目的として、町内で住宅用太陽光発電システムを設置する方に対し、補助金を交付している。

質問 12月定例会

農業の効率化と次世代への継承

環境・生態・農作業判断情報をシステム化することで新規就農者や後継者への継承も容易に行え、効率的な農業生産と品質、収量の高位平準化がはかられ新しい農業スタイルが期待できるのでは。

答弁 町長

担い手の確保と継承事業の調査研究を

農業のノウハウをデータ化することにより、技術の継承がスムーズに行われ、次世代への技術継承と担い手確保、農業振興のために、どのような取り組みが有効か情報収集を進めていきたい。

追跡 その後…

調査研究を進めていく予定です

農業技術のデータ化や継承を目的とした研究グループを農業者・町農協・行政の関係者で3月に立ち上げ、研修会を行った。
今後も研修会等を行い、調査研究を進めていく予定。

質問 12月定例会

定住対策について

本町の高齢化率は27%程度になっていて、空き家が増加傾向にある。空き家を増やさない取り組みができないか。また空き家対策の条例化ができないか。

答弁 町長

定住促進を積極的に進める

空き家は所有者個人が維持管理することが基本。早急な条例制定は考えていない。将来的に検討が必要になることも考えられるが、まずは定住対策と連携した空き家の有効活用について検討していきたい。

追跡 その後…

調査を進めています

市街地の空き家の状況を調査した。また市街地以外の町内会長あてに調査をお願いしており、今後は空き家の所有者に対するアンケートの実施を予定している。